

「ハーフ」の最終ランナー(女性)を伴走で励まします。会場も大きな拍手で迎えました。



第5回とびっくラン in わかほ 若穂路を1611名が駆ける

絶好の秋日和に恵まれた十一月十三日、地区内外、老若男女のランナーを集めて「とびっくラン」が開催されました。加藤市長さんも元気に走りましたね。今回は、初めてのハーフコースが登場。綿内の東部エリアにもコースが延びて森、温湯、清水、大柳、菱田区の沿道では大勢のみなさまが小旗を振って声援。名実ともに若穂あげての大イベントとなりました。みなさまの資金協力やボランティア参加、ありがとうございました。

「くるる」追加募集に42世帯(枚)「たまに・・・」でもいいんです、ご利用ください！！

「知らなかった・・・」「区内の連絡・周知が不徹底・・・」という声を受けて11月1日～15日の間に実施した追加募集。42世帯の内訳は「綿内22、川田8、保科12」。延べ数では482世帯となりました。最近では高齢者の交通事故多発で「免許証返上」がクローズアップされ、反面では、それを補う公共交通の維持存続が、増々重要になっています。

若穂にも2名の地域おこし協力隊員

- みなさん、よろしくお願いします ●
- 担当: 若穂支所長補佐 宮本隆志

長野市では、平成26年度から国の支援を受け、中山間地域へ「地域おこし協力隊員」の配置を進めています。これは、地方自治体が都市住民を受け入れ、地域活動の支援や農林業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらうとともに、その地域への定住・定着を図るもので、地域活性化に貢献してもらうことを目的としています。

協力隊員は、市の特別職非常勤職員で、若穂ジビエの振興や農林業の支援などの業務を予定しています。また、住民自治協議会の会議やイベントにも関わっていただきます。隊員の活躍に期待しています。

次号では隊員の自己紹介を掲載する予定です。

《地域間交流》 第四地区から25名のお客さま

10月25日には保科温泉線の路線バスで若穂が第四を訪れましたが、今回は若穂がお迎えです。11月15日、モミジの



の紅葉が真っ盛りの保科・清水寺にご案内しました。紅葉にはご満足頂いたようです。続いて保科温泉の会場で、綿内会長が若穂を紹介するなど、交流を深めました。

人権を尊び差別のない明るい若穂を！



10月29日、区長部会・人権同和教育促進委員会(松澤壽委員長)が中心となり、多くの団体や若穂中生徒らが参加して市民集会を開催しました。

今年も残すところ一か月

◆アツという間に師走・・・。「ほんわか・ほ通信」も12回発行しましたが、タイムリーな情報、読みたい情報になっているでしょうか？若穂自治協のホームページ <http://www.honwakaho.jp/news.php> やブログ <http://blog.goo.ne.jp/wakahojitikyoo> もどうぞ。清水寺のモミジ、カラー掲載できないのが残念！

◆半分を深い山で囲まれた若穂地区。増え続ける有害鳥獣問題は山間地域や農家だけの問題ではなく、若穂全域の「安心」「安全」にも大きく関わります。11月9日には臨時区長総会を開催して現状や今後の対応について協議しましたが、その内容は新年号でお伝えします。各自治区での討議が必要です。

◆大河ドラマ『真田丸』も残すところあと僅か。若穂郷土史研究会(依田修一会長)は11月5日、特別研修として「真田三代の故郷を巡る」を実施。会員23名が参加しました。どこも観光客や歴史ファンであふれていましたが、今回の「目玉」は旧真田町にある真田幸綱が築城したといわれる山城「真田本城」・・・。真田氏は勢力を拡張しながら松尾古城—真田本城—上田城・沼田城—松代城と変遷していったのです。



最年少は4歳。がんばりました！！

秋の若穂太郎山にトレッキング

10月16日(土)、晴天に恵まれて秋の若穂太郎山トレッキング大会がおこなわれ、地区内37名、地区外17名が参加しました。若穂中央公園に集合し、中電鉄塔コースを登って10時30分には山頂到着。北信五岳他、たくさんの山々が展望できて参加者は大変満足のような様子でした。小休憩後、少々早い下山。途中、高岡区の専達三嶋神社で参拝し、リンゴ畑の中を歩いて保科温泉へ。残念ながら紅葉はまだ早く、キノコもとれませんでした。保科温泉での昼食、入浴

は疲れた体に大変癒してくれました。帰りの路線バスはバス会社の計らいで1台増便。バスの中では「あんな山に登ったんだ」「すごくがんばったね」など感激の声も・・・。若穂中央公園ではキノコ汁、漬物などのおもてなしがあり、「山頂からの展望が素晴らしかった」「温泉、バス乗車がとてもよかった」「次回もぜひ参加したい」など、とても満足した声が聞かれました。みなさん、ありがとうございました。(寄稿「太郎山トレッキング愛護会保科支部」高岡区・小宮山隆)

【ちょっと一言】

- 若穂の「太郎山」(標高997m)はこの地を治めた保科氏の祖先、保科太郎にちなんで命名されたようです。
- 上田市にも同名の「太郎山」(標高1164m)があります。男子名の代表格「太郎」のつく山は全国にみられます。

繁殖力旺盛な帰化植物／セイタカアワダチソウ



秋になるとあちこちで見られる背高泡立草。その命名・・・。背高はわかりますが泡立は？草木染で煮詰めると、その名の通り泡立つから、とか。

区長会がナイトスクール開催



11月9日、若穂区長会は若穂支所駐車場で長野中央警察署から夜間の交通事故の特徴と事故防止のポイントを学ぶナイトスクールを開催。これから雪と凍結の時期を迎えます。交通安全にご留意ください。